
未来復讐

鎌学 文芸部

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

未来復讐

【Nコード】

N8027C

【作者名】

鎌学 文芸部

【あらすじ】

ある科学者が、廊下を歩いていた。先に見える白い扉の向こうには、憎むべき世界が広がっている

青年は今、目の前のボタンを見つめていた。携帯できるくらい小さなボタンには、「REALLY?」と書かれている。訳せば、本当?という意味だ。青年はそれを知っていた。

これを押せば、彼の計画は成功。同時に、復讐も成功したことになる。彼にとつてこの瞬間は、自分の人生をささげた、その結果なのだ。やっと、報われたのだった。

青年を照らしているのは、研究室の蛍光灯だった。彼はここ数年は研究に没頭していた為、太陽の光は浴びていなかった。久し振りに、太陽を見たいと思った彼は研究室を出て、長い廊下を歩いていった。数メートル先に見える白い扉の向こうは、この研究所の屋上になっている。扉に近づいていくにつれ、この世が終わることを知っているからかなのだろうか、彼は昔のことを思い出していた。

彼は北国で生まれた。一世紀くらい前までは「雪」という白くて冷たいものに覆われた街だったらしいが、今では、というより彼が生まれた時にはもう「雪」など存在しなかった。

彼の知っている範囲でいえば、昔生きていた人間が地球を汚し、地球の生態系をめちゃくちゃにしたため、地球が温まってしまい、「雪」はなくなった、ということになる。

そのおかげで、赤道に近い国から、どんどん伝染病が広がっていた。そして、逃げ出してきた難民などが、この街にもきた。

そして、それから増えていったのは、温度と、人口密度と、犯罪だった。

いろんな国からやってくるので話は通じないし、逃げるために金を使い切ってしまったり、そういう環境で生きていくために、彼ら

は非法なやりかたで金をつくるしかなかった。どさくさにまぎれて、裕福で強欲な人間も犯罪をするようになってしまった。

そして、三歳の時、青年の両親は強盗に殺された。知り合いに引き取られた幼かった彼は、五歳から仕事を始めた。知り合いに引き取られたといっても、寝床を与えてくれただけで、食べていくには、三つ上の姉の収入だけではとてもきついものがあつたからだ。

あるとき、道端に落ちていた科学の本を拾ったのが始めだった。それは運命だったのだ、と青年は信じている。それがきっかけで、収入が増えた十歳の頃から無理して教科書を買ひ、独学で勉強した。そのおかげで、彼は技術者になって、収入も以前の倍以上増えた。でも、幸せというのは、長くは続かなかつた。

今まで自分のことを世話してくれた姉が、強盗に殺されたのだ。一番甘えたい時期に両親をなくした青年にとって、姉は母親代わりで、唯一愛していた人だった。

もう、これ以上我慢できない。両親を殺され、苦楽を共にした姉まで殺され、青年は復讐を決意した。

この世から人間がいなくなればいい。青年は自分の学んだ全てをつぎ込み、自分の力で地球の半分を破壊するような強力なミサイルを造った。発射装置は、まさに手中にある。

青年が外に出ると夜だった。太陽の光を浴びたい、という青年の最後の願いはかなわなかつた。でも、それも、もうどうでもよくなつた。これから死ぬのだから。

そして、青年は微笑みながらボタンを押した。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8027c/>

未来復讐

2010年11月30日14時40分発行